



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月13日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー

上場取引所 東

コード番号 4343

URL <https://www.fantasy.co.jp/company/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）藤原 徳也

問合せ先責任者（役職名）取締役兼専務執行役員 管理統括兼
リスクマネジメント担当

（氏名）井関 義徳（TEL）043（212）6203

半期報告書提出予定日 2026年10月14日

配当支払開始予定日 2026年10月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	52,374	12.3	4,156	14.5	4,301	25.9	2,155	22.2
2026年2月期中間期	46,624	6.2	3,630	26.5	3,418	69.7	1,763	371.7

（注）包括利益 2027年2月期中間期 1,296百万円（△24.5％） 2026年2月期中間期 1,716百万円（163.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	108.96	108.85
2026年2月期中間期	89.18	88.91

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期中間期	67,713	9,028	13.0
2026年2月期	64,228	8,014	12.2

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 8,818百万円 2026年2月期 7,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2027年2月期	—	10.00			
2027年2月期（予想）			—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	98,000	5.0	8,000	30.8	6,300	△14.4	3,000	7.5	151.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	19,784,125株	2026年2月期	19,784,125株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	2,370株	2026年2月期	2,354株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	19,781,758株	2026年2月期中間期	19,778,909株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「こどもたちの夢中を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というパーパスの実現に向け、2026年度～2030年度中期経営計画を策定し、メインターゲットを「こども」中心から「こども」と「こどもを取り巻くご家族」へ領域を拡大いたしました。提供価値をアップデートした新たなビジョンを『「夢中」で「楽しい」にぎわい空間を創り続けるえがお創発カンパニー』と定め、持続可能な社会への貢献を実現するため、企業価値を高めるべく事業活動を推進しております。

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高523億74百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益41億56百万円(同14.5%増)、経常利益43億1百万円(同25.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益21億55百万円(同22.2%増)、収益力実態を示す償却前営業利益は101億9百万円(同13.6%増)となりました。各段階利益ともに中間連結会計期間として過去最高となりました。

なお、当中間連結会計期間より、組織体制を変更したことに伴い、報告セグメントとして記載する事業セグメントを従来の「アセアン」及び「中国」セグメントから、「海外」セグメントに変更しており、前中間連結会計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、2026年9月14日に開示したとおり、連結子会社である永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司の解散及び清算を取締役会で決議いたしました。清算終了は2028年2月期中を想定しております。2027年2月期の連結当期純利益への影響額は現在精査中です。

(国内事業)

国内事業は、既存業態の収益性を維持・向上させるとともに、新業態を次の成長の柱として拡大し、持続的な利益成長を目指し事業を推進しております。

既存店では、当中間連結会計期間で売上高前年同期比106.0%と好調に推移いたしました。部門別では、主力のプライズ部門で同106.9%、うち、キッズ向けのキッズプライズ部門が同120.3%と部門全体の売上を牽引いたしました。カプセルトイ部門では、市場が拡大している中、当社オリジナル機種「かぷえぼ」の売上高が前年同期比140.3%と大きく伸長し、部門全体の既存店売上高前年同期比は133.5%となりました。カード部門では、人気IP「鬼滅の刃」の新機種を「モーリーファンタジー」全店に導入し、大きなシェアを獲得いたしました。この「鬼滅の刃」の新機種の好調に加え、「ドラゴンボールスーパーダイバース」も好調で売上拡大に寄与し、既存店売上高は同117.1%となりました。

新店では、アミューズメント事業のプライズ専門店「クレーン横丁 極」を4店舗出店いたしました。日用品を中心とした景品構成とし、主婦層を中心に、こどもからシニアまで幅広い顧客層にご利用いただいております。全6店舗で売上高・店舗利益ともに計画を大幅に上回っており、下半期も積極的に出店を進めてまいります。また、総合店4店舗、その他専門店25店舗を出店いたしました。プレイグラウンド事業では「のびっこジャンボ」5店舗、「ちきゅうのにわ」4店舗を出店いたしました。温浴事業では「OYUGIWA」1店舗を出店いたしました。当中間連結会計期間の店舗数は、43店舗を出店する一方、25店舗を閉店し、2026年8月末では合計806店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高426億12百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益39億97百万円(同2.4%増)となり、売上高は4期連続、営業利益は3期連続過去最高を更新し、連結全体を大きく牽引しております。

(海外事業)

海外事業は、従来の“成長重視”の方針から、顧客ニーズに応じた柔軟な価格設定などによる既存店収益力の向上と投資効率を重視した“利益率重視”の方針へ転換し事業を進めております。アセアン全体では、ローエンドモデルを中心とした地方への出店と、当期及び前期に活性化を実施した店舗が堅調に推移し、増収増益となりました。特にインドネシア・ベトナムでは当期新店が好調に推移し、アセアン全体を牽引いたしました。また、マレーシアでは売上が賃上げ等のコスト増加

を吸収しきれなかったこと、フィリピンでは燃料価格の上昇等による消費環境の変化もあり減益となりましたが、インドネシアの前期新店及び前期活性化の好調・タイの経費コントロールの徹底・中国の構造改革の推進により、海外事業として増益を確保いたしました。

以上の結果、海外事業における当中間連結会計期間の業績は、売上高99億11百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益1億60百万円(前年同期営業損失2億72百万円)となり、売上高は中間連結会計期間として過去最高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、182億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億83百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加(15億68百万円)、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌月に決済されたことによる売上預け金の減少(11億74百万円)であります。

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、494億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億1百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加(13億8百万円)及び建物の増加(8億94百万円)であります。

この結果、総資産は677億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億84百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、410億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億73百万円増加いたしました。主な内訳は、買掛金の増加(6億63百万円)、未払費用(主に人件費と賃借料)の増加(6億9百万円)、設備関係の支払方法を約束手形から電子記録債務に変更したことに伴う設備関係支払手形の減少(8億70百万円)及び設備関係電子記録債務の増加(17億53百万円)であります。

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、175億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加いたしました。主な内訳は、長期借入金の増加(4億58百万円)であります。

この結果、負債合計は586億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億69百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、90億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億14百万円増加いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上(21億55百万円)、剰余金の配当による減少(2億96百万円)、為替の変動に伴う為替換算調整勘定の減少(8億36百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月9日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,822,989	9,391,089
売掛金	245,475	248,895
売上預け金	3,890,906	2,716,662
棚卸資産	3,413,852	3,325,462
その他	2,225,928	2,600,213
流動資産合計	17,599,153	18,282,323
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,912,600	9,807,126
遊戯機械(純額)	21,092,043	22,400,981
使用権資産(純額)	4,797,756	4,730,406
その他(純額)	2,565,337	2,924,498
有形固定資産合計	37,367,738	39,863,012
無形固定資産		
のれん	50,217	35,477
ソフトウェア	1,060,681	1,043,795
その他	4,189	4,340
無形固定資産合計	1,115,088	1,083,614
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	5,177,889	5,300,409
その他	2,968,988	3,183,731
投資その他の資産合計	8,146,877	8,484,140
固定資産合計	46,629,703	49,430,766
資産合計	64,228,857	67,713,090

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,103,078	2,767,042
短期借入金	17,503,350	17,927,450
1年内返済予定の長期借入金	4,914,943	5,331,763
1年内返済予定の長期割賦未払金	488,365	195,919
リース債務	2,609,315	2,552,657
未払費用	2,005,096	2,614,295
未払法人税等	1,988,648	1,800,542
賞与引当金	448,632	463,525
役員業績報酬引当金	44,387	24,088
閉店損失引当金	210,205	203,215
設備関係支払手形	903,180	32,885
設備関係電子記録債務	1,966,871	3,719,996
その他	3,825,358	3,451,340
流動負債合計	39,011,433	41,084,720
固定負債		
長期借入金	12,159,528	12,617,984
リース債務	3,119,544	2,936,021
退職給付に係る負債	129,487	135,002
資産除去債務	1,712,816	1,812,564
その他	81,808	97,934
固定負債合計	17,203,186	17,599,506
負債合計	56,214,620	58,684,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,502	1,829,502
資本剰余金	3,242,711	3,242,711
利益剰余金	5,374,391	7,233,042
自己株式	△5,411	△5,451
株主資本合計	10,441,193	12,299,804
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,905,555	△3,742,285
退職給付に係る調整累計額	279,606	260,933
その他の包括利益累計額合計	△2,625,949	△3,481,351
新株予約権	31,084	45,826
非支配株主持分	167,908	164,584
純資産合計	8,014,237	9,028,863
負債純資産合計	64,228,857	67,713,090

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	46,624,731	52,374,877
売上原価	39,518,701	44,509,251
売上総利益	7,106,029	7,865,626
販売費及び一般管理費	3,475,613	3,709,051
営業利益	3,630,416	4,156,574
営業外収益		
受取利息	39,953	43,303
為替差益	4,968	707,743
受取保険金	13,027	17,040
固定資産売却益	43,923	5,716
預り金受入益	7,068	3,554
リース解約益	162,428	6,238
その他	30,346	79,458
営業外収益合計	301,716	863,057
営業外費用		
支払利息	475,548	597,886
固定資産売却損	8,282	771
資金調達費用	9,000	23,000
その他	21,149	96,008
営業外費用合計	513,980	717,667
経常利益	3,418,152	4,301,963
特別利益		
閉店損失引当金戻入額	41,146	45,862
特別利益合計	41,146	45,862
特別損失		
店舗閉鎖損失	40,975	40,426
閉店損失引当金繰入額	104,030	126,351
減損損失	208,098	428,980
災害による損失	—	9,529
その他	—	102,663
特別損失合計	353,103	707,951
税金等調整前中間純利益	3,106,195	3,639,874
法人税、住民税及び事業税	1,472,805	1,603,974
法人税等調整額	△114,718	△115,070
法人税等合計	1,358,087	1,488,903
中間純利益	1,748,108	2,150,970
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△15,827	△4,407
親会社株主に帰属する中間純利益	1,763,935	2,155,377

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	1,748,108	2,150,970
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26,918	△835,646
退職給付に係る調整額	△4,285	△18,673
その他の包括利益合計	△31,204	△854,319
中間包括利益	1,716,903	1,296,650
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,739,908	1,299,975
非支配株主に係る中間包括利益	△23,004	△3,324

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,106,195	3,639,874
減価償却費	5,271,608	5,952,915
固定資産除売却損益(△は益)	△19,671	74,069
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,266	17,926
受取利息	△39,953	△43,303
支払利息	475,548	597,886
為替差損益(△は益)	△4,968	△707,743
受取保険金	△13,027	△17,040
リース解約益	△162,428	△6,238
減損損失	208,098	428,980
災害による損失	—	9,529
売上債権の増減額(△は増加)	△53,892	△4,925
売上預け金の増減額(△は増加)	△4,856,520	1,174,161
棚卸資産の増減額(△は増加)	△162,894	76,204
仕入債務の増減額(△は減少)	491,367	663,716
その他	695,701	△89,039
小計	4,915,895	11,766,972
利息の受取額	15,879	16,146
利息の支払額	△465,541	△591,399
法人税等の支払額	△1,036,853	△1,807,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,429,380	9,384,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,429,824	△6,713,867
有形固定資産の売却による収入	64,274	14,460
無形固定資産の取得による支出	△157,299	△183,278
長期前払費用の増加による支出	△126,220	△131,420
敷金及び保証金の差入による支出	△241,110	△305,921
敷金及び保証金の回収による収入	144,767	194,024
その他	△174,286	△12,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,919,699	△7,138,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,307,420	512,720
長期借入れによる収入	4,463,324	3,249,295
長期借入金の返済による支出	△1,710,404	△2,273,746
配当金の支払額	—	△296,737
リース債務の返済による支出	△1,278,480	△1,543,011
割賦債務の返済による支出	△289,035	△292,446
その他	△409	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,492,416	△643,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,156	△32,526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,014,253	1,569,300
現金及び現金同等物の期首残高	6,141,169	7,792,858
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,155,423	9,362,158

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	国内	海外			計		
		アセアン	中国	小計			
売上高							
外部顧客への売上高	37,624,008	7,296,381	1,704,342	9,000,723	46,624,731	—	46,624,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,891	—	—	—	135,891	△135,891	—
計	37,759,899	7,296,381	1,704,342	9,000,723	46,760,623	△135,891	46,624,731
セグメント利益又は 損失(△)	3,903,039	381,548	△653,585	△272,036	3,631,003	△586	3,630,416

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「国内」セグメント5,353千円、「海外」セグメント202,745千円の減損損失を計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	国内	海外			計		
		アセアン	中国	小計			
売上高							
外部顧客への売上高	42,463,008	8,822,182	1,089,687	9,911,869	52,374,877	—	52,374,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,948	—	—	—	149,948	△149,948	—
計	42,612,956	8,822,182	1,089,687	9,911,869	52,524,826	△149,948	52,374,877
セグメント利益又は 損失(△)	3,997,452	474,203	△313,759	160,444	4,157,896	△1,322	4,156,574

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、組織体制を変更したことに伴い、報告セグメントを従来の「アセアン」及び「中国」セグメントから、「海外」セグメントに変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「国内」セグメント58,070千円、「海外」セグメント370,910千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の解散及び清算)

当社は、2026年9月14日開催の取締役会において、連結子会社である永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司(以下AF中国という)を解散及び清算することを決議いたしました。

1. 解散の理由

AF中国は2007年に設立し主に子ども向けアミューズメント施設を中国各地で運営してまいりました。コロナ禍の影響とコロナ禍以降中国でのアミューズメント事業の競争激化もあり、AF中国は2021年度以降大きな営業赤字を継続いたしました。これを受け事業構造改革を継続してまいりました。その結果、営業赤字は大幅に改善しているものの、今後においても中国における将来的な成長性の観点から業績の飛躍的な回復は難しいと判断し、イオンファンタジーグループの事業ポートフォリオ等を総合的に検討した結果、AF中国を解散することとなりました。

2. 解散する連結子会社の概要

(1) 名称	永旺幻想(中国)児童遊楽有限公司
(2) 所在地	中華人民共和国北京市
(3) 代表者の役職・氏名	董事長・総経理 福島 徹
(4) 事業内容	アミューズメント施設の運営
(5) 資本金	9,985百万円(590百万中国元)
(6) 設立年月日	2007年9月24日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社イオンファンタジー 99.54%

3. 解散及び清算の日程

2026年9月14日	当該連結子会社の解散決議
2028年2月期中	清算終了(予定)

4. 当該連結子会社の状況(2026年8月31日 現在)

資産総額	1,403百万円
負債総額	20,694百万円

5. 業績に与える影響

当該事項に伴う下記事項の損益への影響は現在精査中であります。当期及び来期以降の連結決算に与える影響は下記のとおりであると考えます。

①2027年2月期において、子会社清算に伴う追加費用は、従業員経済補償金等を特別損失として計上する予定です。

②2027年2月期において、国内で過去の中国子会社への出資金や融資に関する評価損や貸倒引当金に対して繰延税金資産を計上する見込みです。(法人税等調整額(益))

また、来期以降、AF中国の為替換算調整勘定が、清算終了時には特別損失に振替えられる予定ですが、具体的な影響額につきましては清算終了までの為替レートにより変動いたします。